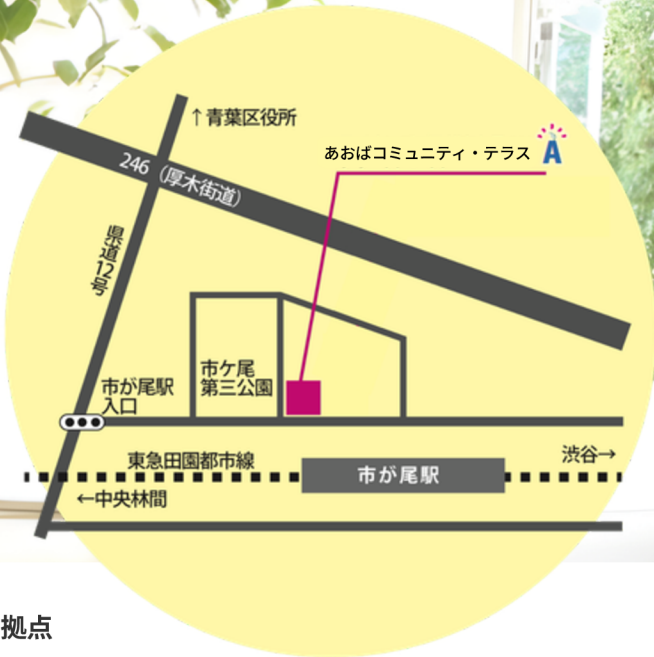


横浜市青葉区 青少年の地域活動拠点  
**あおばコミュニティ・テラス**  
2025年度



横浜市青葉区 青少年の地域活動拠点

**あおばコミュニティ・テラス**

●開館時間

月曜日 15:00～20:00

水曜日 15:00～20:00

土曜日 13:00～18:00

※休館：年末年始・祝祭日

郵便番号：〒225-0024

住所：

横浜市青葉区市ヶ尾町 1153-2 ライオンズプラザ市ヶ尾 201

TEL：045-500-9254

mail：info@aobact.com

URL：https://aobact.com/

運営団体：特定非営利活動法人まちと学校のみらい

Future Of Community And School

ホームページ：http://www.npofocas.org

発行：2026年3月



あおばコミュニティ・テラス  
公式HP

<https://aobact.com/>



# TABLE OF CONTENTS

あおばコミュニティ・テラス	04
あおば未来プロジェクト	06
あおばユーストライ	18
YOUTH WAVE	22
中高生の学び	26



相談支援	28
みんなの学習室	30
NPO事業	32
ネットワーク・発信	34
テラスコーディネーター	36
1年間の流れ	38



# 横浜市青葉区 青少年の地域活動拠点 あおばコミュニティ・テラス

## 学校でも家庭でもないサードプレイス（第三の場）

一人でもグループでも自由に使うことができる、安心できる居場所です。

## まちづくりや地域ボランティア活動ができる場

- あおば未来プロジェクト  
大学生がサポートする中高生のまちづくり
- あおばユーストライ  
夏休みの地域ボランティア活動
- Youth Wave  
自由に発案・企画・実行するプログラム

## 相談支援

日常の会話の中でちょっとした悩み・困りごとや将来の夢やビジョンを語る場です。

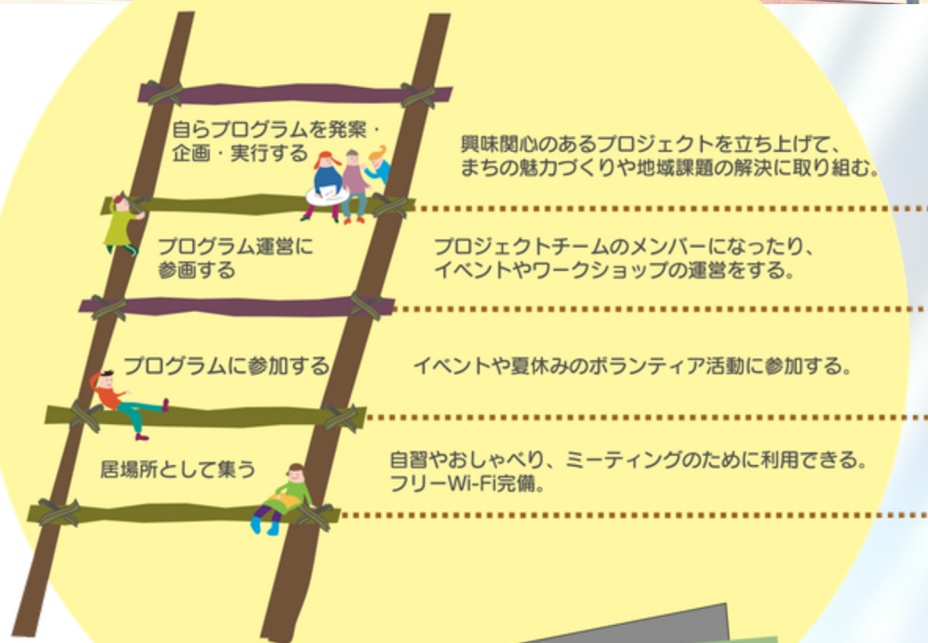
- えんがわ相談  
困難をかかえた中高生や保護者が日常的な雰囲気の中でいつでも気楽に、相談できます。
- 思春期お茶の間会  
中高生世代のお子さんをお持ちの保護者が安心して語り合える場です。
- 保護者向け講座  
子どもたちの健やかな成長と家族の成長に寄与することを目指しています。

青少年育成にかかわる地域の人・組織のネットワークをつなぎ、情報交換や学びの機会を提供します。

中学生・高校生世代だけでなく  
未就学児から高齢者まで利用することができ、  
多世代交流の場となり、まちづくりにつながります。



青少年が  
地域活動拠点で  
できること



中高生のまちづくり

# あおば未来プロジェクト

# AOBA MIRAI PROJECT

広報青葉区版やチラシを見て「やってみよう！」と主体的に参加した中高生が、「まちの魅力づくり」「地域課題の解決」のために1年間活動し、政策提言につなげます。

まず、青葉区の特徴やまちづくりについて学び、どんなまちにしたいか、まちにはどんな良さや課題があるのかそれぞれ考えます。次に似た思いや課題意識を持つ人が集まり、情報収集、フィールドワーク、さらに話し合いを重ね、実際に試みて、次第にチームになり、政策提言につなげます。

今年は4つのテーマで動き出し、活動のプロセスで次第にチームになりました。各チームには大学生がサポーターとしてかわり、中高生の思いや考えを引き出したり、フィールドワークに同行し伴走します。この活動では、学校とは異なる地域ならではのリアルな学びと出会いがあり、合意形成のプロセスを体験的に学び、協働的に活動する力が育まれます。また主体的にかかわることで、まちづくりの担い手としての意識が高まっています。



## プロジェクトの流れ

- 5月24日 あおば未来プロジェクト説明会
- 6月7日 テーマについて話し合おう
- 6月21日 テーマごとに仮チームを作る
- 7月26日 チーム発足
- 夏休み チームごとにリサーチ活動
- 9月6日 夏休みの活動を経て今後の動きを決めよう
- 10月11日 区民まっりのプランを練る
- 11月3日 青葉区民まつりに参加
- 11月3日 区民まつりのふりかえり
- 12月13日 今後の活動について話し合おう
- 1月17日 これからの活動について話し合おう
- 2月7日 報告会の準備をしよう
- 3月7日 活動報告会 区長への政策提言



## プロジェクトの流れ



# 青葉区ラブ

Aobaku Love



## MISSION 青葉区民の青葉区への 興味関心を高める

課題意識  
地域への関心がない、青葉区について考える機会が少ない

### PROCESS

- 11月3日 区民祭りで地域イベントに関するアンケートを行う
- 11月23日 あおばを食べる収穫祭参加
- 12月13日 スペースBAOBABの方からお話を聞く
- 1月31日 クリーニングデイ参加

### member

- 倉茂姫愛(高3)
- 佐野碧(高2)
- 酒田裕理(高3)
- 小幡サラ(高2)
- 安治美羽(高2)
- 飯田真央(高2)
- 早川りさこ(中2)
- 石川南(大4)

### 課題と成果

メンバーの興味関心が様々だったため、方向性を1つに定めることに時間がかかりました。テーマ決定後は情報収集の必要性を感じて、区民祭りでアンケートを実施し、約50人の方に答えていただきました。

### 今後の展望

地域のイベントにブースを出店する予定です。未来の青葉区をテーマにした掲示物を作成し、参加者と共に青葉区について考える機会にしたいと思います。また、青葉区の好きなところや場所を共有する場にもしたいと思います。



今回は、青葉区民がもっと自分の地域に愛着をもってほしい、という想いで活動しました。最初は、チームメンバーと上手く意見を擦り合わせる事が出来ませんでした。ですが、活動や話し合いを重ねることで、メンバーの考えに刺激を受け、多角的な視点で物事を見ることが出来るようになりました。佐野碧

課題設定の難しさを学びました。はじめ、青葉区に無関心な人に興味をもってもらいたと考えていました。しかし、活動してみるとそのような人と接点をつくるのが厳しいと感じ、ターゲットを変更しました。この先も同じような状況になったときにどうすればいいのか、考えたいです。そして、自分自身も様々なことに探究心を高めていきたいと思っています。倉茂姫愛

区民まつりでアンケートを行った際、どうしたら回答していただけるか考えるのに苦労しましたが、声の掛け方やアンケート内容を心がけることが大切だと知りました。また、テーマが広い中、チームで話し合いを進めていくうちに、住んでいる地域への関心を高めるためには、まず青葉区について考える機会を作ることが必要だと学びました。酒田裕理

結成当初は、中高生の興味が少しずつ異なっていたため、テーマ決めに苦労しました。サポーターとして、それぞれの興味関心を実現させるにはどのように進めるべきかを考えたことで、協働力が成長したと思います。また、地域だと感じている範囲が狭いという高校生の意見から、自分の地域との関わり方を見直すきっかけにもなりました。石川南

私は、青葉区に住んでいる人が少しでも興味や関心を持ってもらうためにどのようにしたら良いかグループのメンバーと話し合うことで考えることができました。区民祭りでは来場者の方にアンケートを答えてもらうように呼びかけ、アンケートをとることで青葉区のどのような層の方が来ていて、どのような目的で来ているのか分かり、自分自身も青葉区について知ることができました。安治美羽



# SPARK

人を集めてスポーツのイベントを行う  
永久的なスポーツの場を設ける



## 課題意識

- ・近所にスポーツする場がない
- ・思いっきりスポーツする場がない
- ・非日常を体験したい

## PROCESS

- 7月23日 谷本公園へフィールドワーク
- 8月23日 下市ヶ尾町内会祭りへ出席
- 11月3日 あおば区民祭りでアンケートを取る
- 2月28日 小学生と一緒にモルック大会開催

## MEMBER

- 齋藤美花(高3)
- 北原明日香(高2)
- 小見山颯太(高1)
- 小川大遥(中2)
- 中田夏音(大3)
- 高橋玲唯(大2)

今回の活動を通して、一から企画する難しさを学びました。私は、前回途中参加だったためやるが決まっている状態からのスタートでした。しかし、今回一から企画してみて、どういう必要があるのか、スポーツにおける大人と子どもの価値観の違いなどを学び、そこからどういう工夫をすべきかを考えるのが難しかったです。(齋藤美花)

私は今年で2年目になりますがこのグループには遅れて加入しました。私がこの年で一番成長した事はうまい具合に周りを見れるようになったことだと思っています。また、発言などは少しずつですが増えてきているので、なかなか目標達成が難しい目標ですが、去年の経験を活かしながら自身の出来ることを精一杯頑張っていきたいと思います。(北原明日香)

今回のチームでのプロジェクトは自分にとって初めての経験でした。今まで行ってきたボランティアは一日限定のものばかりで、一年も続く活動を行うのは初めてでした。最初は慣れないことも多くありましたが、大学生サポーターの皆さんが仲良くなるためのゲームを提案してくれたり、話し合いを進行してくれたおかげでスムーズにプロジェクトに取り組みました。また、地域の祭りへの参加や行ったことのない公園を調査に行くことで地域についてより詳しくなりました。(小見山颯太)



僕は今年度、このあおば未来プロジェクトに初めて参加しました。そのため、最初はわからないことだらけでした。しかし、グループの仲間や大学生サポーターの方々が助けてくださり、心配なく活動を行うことができました。このプロジェクトで僕が学んだことは主体的に動く楽しさです。この活動では誰かに言われたとかではなく、自分たちで0から活動内容を作る難しさや、その面白さを知ることができました。(小川大遥)

大学生サポーターとして参加したのは終盤になってからでしたが、中高生たちが明確な目的意識を持っていて、また、それに対して自分ができることをどんどん発信していく姿勢に驚かされました。これまでサポーターしてきたグループとはまた異なった空気感となっていて、私もサポートの仕方やまとめ方など新たな視点が生まれ、新たな学びとなりました。(中田夏音)

活動を通して、中高生の自分には持っていない発想や考え方を知ることができました。貴重な中高生の考えを聞き出して、話を広げることの難しさを実感しました。サポーターをして2年目になりますが、チームの雰囲気や進め方にも個性が表れていると感じました。サポートの仕方や問かけの仕方など新たな学びもあり、とても充実した1年間の活動になりました。(高橋玲唯)

## 今後の展望

町内会のお祭りで行ったアンケートでは、用意した3つの質問に対してどのような因果関係があるのが分からず、思うようなアンケートを取ることが出来ませんでした。この反省を活かして区民祭りではアンケートの取り方を選択肢ごとに回答が繋がってるか分かるような作り方を工夫することができました。スポーツイベント、モルック大会を開催しました。スポーツを通して地域との交流を深めていきたいと考えています。



# 交安REI

交安委員会道路環境向上課

## process

8月14日  
青葉区役所でのヒアリング  
あざみ野駅と田奈駅での現地調査  
11月3日  
区民祭りにて危険な所の情報収集  
と交通クイズの実施

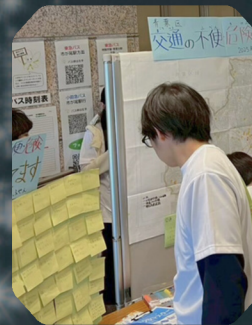
活動を通しての出会い  
青葉区役所地域振興課地域活動係  
小森係長  
二宮交通安全対策員

## 課題と成果

区民祭りでのアンケートにおいては、まだまだ数が少なく、さらにデジタル媒体で実施したクイズはもっと少なかったのが課題です。区役所の方と繋がり、話を聞くことができたのが成果です。

## 誰もが使いやすい道路環境を作るため、マップで不便・危険な場所を可視化する

この活動を通じて、様々な人々や機関が道路環境に関わっているということを実感することができました。また、交通安全に関する課題について「実際にどうしたら解決できるか」という視点を持つことができました。交通安全に限らず、課題を解決するには、様々な関係者がいるということを考慮し建設的に行っていきたいです。 青木祐弥



去年と同じ分野である交通関係でしたが、去年とは違う新たな発見や出会いがあり、面白かったです。通学路の安全を守る協議会の存在を知ったり、信号の管理などの場所を知って、身近な道路関係のものゝ裏がわかって楽しかったです。また、駅前などの身近な場所にも交通危険を確認して、安全に気をつけようと、自分の心にも言い聞かせられました。 清水大誠

日頃から感じていた地域の問題や不安を自分一人ではここまで行動に移せなかったと思います。実際に現場に向いて調査を行い、役所に現状を報告し、解決に向けて行動できたことは、私の大きな収穫です。皆で一つの目標に向かって協力し、団結することの大切さを知ると同時に、信頼関係も深まり、楽しく、充実した時間を過ごすことができました。 堀野裕愛

## 今後の展望

区民祭りで集めた道路の不便をデジタルマップ化します。さらに、啓発動画などを作成し、道路を使う人々がより安心、安全に生活できるように伝えていきたいです。最終的には、区全体でそういった取り組みができるようになる一つのきっかけにしたいです。

今年度初めて参加し、区民まつり等の地域活動に携わりました。元々ボランティアに興味はあったものの、実際に活動する機会は少なかったため、このあおば未来プロジェクトでの様々な活動を通じて、中高生が地域の一員として主体的に行動することの重要性や自分の中の地域活動に対する意識を深めることができました。 佐々木一郎

参加できたのはわずか数回でありましたが、地元に関心を持つきっかけの一つになったと思います。交通についてもニュースなどを通じて自分で調べる事ができるようになった他、どのようにすれば地域をより盛り上げる事ができるのか考えるきっかけになりました。このプログラムが終わっても自分なりの学びを深めたいです。 石垣和花子

チームでミーティングを重ねることで活動が具体的になっていくことと、その過程を学べました。異なる具体例に興味を持つメンバーが集まりテーマが広い中でも、それぞれの意見が新しい視点になり、同じ活動にまともることが面白かったと感じています。また、交通の面から青葉区を新たに知ることができたことも学びでした。 池田光風音



## 中高生が作成した「あおばの道マップ」



## Member

- 堀野裕愛 (中1)
- 清水大誠 (中2)
- 青木祐弥 (高1)
- 佐々木一郎 (高2)
- 石垣和花子 (大1)
- 池田光風音 (大4)



# Linkers

青葉区にある学校に通う中高生が自由に過ごせる居場所に困っているという課題があります。この活動を通して、青葉区の学校に通っている中高生が自由に使える居場所を発信することがミッションです。

活動の目的やゴールが明確でない期間が多かったため、どのように進めれば良いのか困惑してしまっていました。そのような場面では、受け取り側にどのような行動を起こしてほしいのかということメンバー内で確認し、転換しながら活動を進めることができましたと思っています。

デジタルマップを二次元コードに落とし込み、青葉区にある学校に掲示してもらったためのポスターをデザインしました。3月には、チラシやポスターの掲示を学校に提案することで利用できる施設を学生が容易に見つけられるようにしました

普段の活動内で今後の方針やゴールが曖昧な場合には、初心に帰るとともに切り替えることが必要だと感じました。また、デジタルマップやアンケートなどの扱いに慣れていないものを使用する場合には、自分で操作してみたり教えてもらったり、新しい挑戦を大切にしたいと思いました。

佐竹優芽

あおば未来プロジェクトに参加したのは初めてでしたが、初対面の方と積極的に関わり、周りに配慮しながら協力して活動することができました。また、周囲の人からのアドバイスを聞き、どうすれば改善できるかを考える力を身につけました。この経験を通じて、新しい環境に飛び込む抵抗感が少なくなり、視野も広がったと感じています。

竹田奈央

## MEMBER

佐竹優芽(高2)  
竹田奈央(中3)  
大久保芽生(大4)  
太田千鶴(大3)

## PROCESS

11月3日  
青葉区民祭りで  
「青葉区の宝探し」アンケート実施。  
12月13日  
居場所に関するアンケート作成。  
1月17日  
デジタルマップ作成。



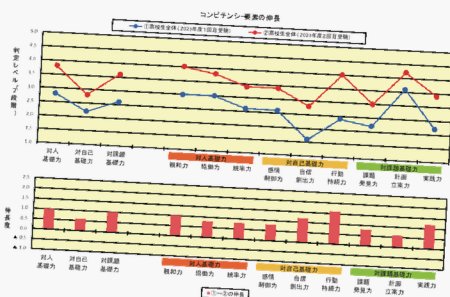
SCAN ME!!



QRコードを読み取ると、青葉区内の学校に通っている中高生・大学生向けの「居場所マップ」が見られます！  
勉強・休憩・交流 などなど  
自由に安心して過ごせる場所を掲載しています！



# アセスメントプログラム 「PROG」



**コンピテンシーとは**  
人と自分に最適な状態をもたらそうとするチカラ

**対人基礎力**  
親和力 協働力 統率力

**対課題基礎力**  
課題発見力 計画立案力 実践力

**対自己基礎力**  
感情制御力 自信創出力 行動持続力

あおば未来プロジェクトに参加することによる効果をエビデンスとして計測する必要がありますと考え、河合塾とリアセックが高校生・大学生対象に共同開発したジェネリックスキルの成長を支援するアセスメントプログラム「PROG」を実施しています。

あおばコミュニティ・テラスではコンピテンシーテストを実施していますが、その目的は「一人ひとりが自身の強みを知り、自己理解を促す」「一人ひとりに応じたより良いサポートをするため」「活動による一人ひとりの成長を知るため」で、令和5年度の結果から、すべての項目で活動後のレベルが上がっていることがわかりました。

# PROG Assessment program



## 若い君たちに送るメッセージ

角方正幸 リアセック キャリア総合研究所所長 NPO法人まちと学校のみらい監事

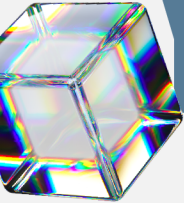
あおば未来プロジェクトに参加した中学生、高校生そして大学生の皆さん、一年間ご苦労さまでした。5年前、市ヶ尾に誕生したあおばコミュニティ・テラスを拠点に多くのことを経験したと思います。皆さんの中にはこのプロジェクトがきっかけで青葉区という地域や街を初めて知った人もいますね。この地域の印象は一年間で変わりましたか？今回もコロナ禍で行動制限がありましたが、スタッフの協力もあり対面での貴重な経験が出来たと思います。学校の教室や家庭では経験することがない、地域課題をテーマにクラス、学校、年代の違った人達との交流は貴重な経験です。初めて会う人たち、それも年齢が異なる人たちと一緒に活動するのは緊張感があります。しかし、この緊張感こそ大事なのです。

教室での学びと何が違うのでしょうか？国語や数学などの教科学習とは異なり、身近な地域を対象に、必ずしも正解がない課題にチャレンジするのが「あおば未来プロジェクト」です。このような活動、プロセスを通じて様々な経験をし、学習していきます。要するに学習の源泉はこの「経験」なのです。経験と人の成長についてはすでにいくつかの先行研究があります。その中に、「挑戦性や柔軟性が高い人ほど、経験から学習する能力が高い」、「リーダーシップはもって生まれたものではなく、後天的に学習・開発可能なもの」などが含まれています。つまり、あおば未来プロジェクトでの経験は学習理論に当てはめても大変貴重なわけです。

若い君たちはこの先多くの経験を積み重ねていってください。失敗を恐れる必要はありません。大事なのはチャレンジする姿勢、気持ちです。是非皆さんはここでの経験を自信に変え、さらに活動の範囲を拡げて新たな出会いを楽しんでください。最後に、このプロジェクトやあおばコミュニティ・テラスの場が自分の可能性を広げ、将来の夢や希望に繋がることを切に願っています。

# あおばユーストライ

# AOBA YOUTH TRY



中高生が夏休みの地域ボランティア体験を通して、自分と社会とのつながりを実感し、これからの社会に必要な力を育む機会になります。学校教育とは異なる地域でのリアルな体験によって、地域の様々な人に出会い、自分を再発見し、地域への愛着が深まるとともに、自分たちの社会は自分たちでつくるという市民性の萌芽を体験的に感じる事ができ、キャリア教育にもつながります。それぞれ参加のきっかけは異なりますが、誰もがこのボランティア活動を通じて新しい価値に出会い、忘れられない夏休みの体験になったことでしょう。

## ORIENTATION

あおばユーストライは青山学院大学コミュニティ人間科学部の学生が地域実習として、ボランティアの企画を行います。ボランティア先に行きに加えて、オリエンテーション、ふりかえりワークショップを運営します。今年度のユーストライにはボランティア先10か所、中高生が51名の申し込みがあり、大学生を含め延べ103名が活動しました。初めて顔を合わせる中高生の緊張感を和らげるためにグループに分かれての自己紹介とアイスブレイクの後、ボランティア先の説明を受けて、自分が参加するボランティアを決めました。複数のボランティアに参加する中高生もあり、次第に交流を深めていました。企画・運営を担った大学生たちは、あらかじめボランティア先との打ち合わせをした後、担当者を中心にオリエンテーションの準備をすすめて、当日に臨みました。

## SCHEDULE

### 地域実習スケジュール

- 5月1日 実習に向けたガイダンス
- 5月22日 青葉区役所、青葉区社会福祉協議会にて情報収集。
- 6月26日 ボランティア先への出向いての打ち合わせ
- 7月20日 中学生・高校生オリエンテーション
- 7月21日 地域ボランティア活動に同行
- ~8月23日
- 8月24日 振り返りワークショップ



## あおば子ども食堂

協力団体：あおば子ども食堂  
青葉区社会福祉協議会、もえぎの地域ケアプラザ、さつきが丘地域ケアプラザの3か所の子ども食堂にボランティアとして参加。配膳や調理のお手伝い、子ども食堂に来ている人との交流をした。

## 横浜市民ギャラリー あざみ野

協力団体：横浜市民ギャラリーあざみ野  
子ども向けのアートイベントのお手伝いをした。別の日にアーティストを招いて「住むまちを自分で面白くして、もっと好きになる」というワークショップをあおばコミュニティ・テラスで行った。



## 青葉区子育て支援拠点ラフール

協力団体：青葉区子育て支援拠点ラフール  
青葉台と市ケ尾にある子育て支援拠点ラフールにて、利用者の親子との交流、環境整備をおこなった。

## 工作ワークショップ

協力団体：おやじのうでまくり、藤が丘地区センター  
小学生がちょっと難しい工作に挑戦するワークショップ。事前に試作品を作って、作業工程を頭に入れてから当日を迎えた。苦戦する小学生に上手に寄り添って、一緒に工作を楽しんでいた。





## おもちゃのひろば

協力団体：あおばおもちゃのひろば  
朝の準備から最後の片付けまで、一連の活動に参加させてもらった。最初は子どもとの接し方に戸惑っていたが徐々に打ち解けていくことができていた。



## 三丁目カフェ

協力団体：三丁目カフェ  
たまプラーザのまちづくりのお話しをうかがった。また、普段触れることのない、音楽ライブで使用する機材の設営を手伝いをした。

## 山内図書館

協力団体：山内図書館  
図書館で本の分類（日本十進分類法）について学び、返却された本を本棚に戻す作業をした。



## ふりかえりワークショップ



各ボランティアの活動の報告と各自のそれぞれのふりかえりを共有しました。自分が参加していないボランティア活動の報告にも興味を持ち耳を傾けていました。ボランティア活動のふりかえりは、活動を通じて得た学びと出会いについて認識する事に加えて、意味や価値を見出すことができます。ふりかえりワークショップもオリエンテーション同様、地域実習の一環として大学生が企画・運営しました。

## たまプラーザ駅周辺清掃

協力団体：たまプラーザ駅前通り商店会  
たまプラーザ駅周辺での清掃活動を早朝より行った。一見きれいな商店街でも、ポイ捨てがあったり、灌木の下にゴミが落ちていたりした。



## ほっとサロン青葉夏祭り

協力団体：ほっとサロン青葉  
地域の人向けに開かれた施設の夏祭りで、やさそばの販売や、ゲームの店番を行った。



## 中高生の感想

子どもの遊びを支えるのは実際に自分も楽しむことも大切だということに気づいた。おもちゃで遊ぶことを通して成長につながることを学びました。

小学生の工作のお手伝いをさせていただいて、少しあぶない、きりやカッターなどは一緒にやるところと、子どもたちに自発的にやってもらうところなどの線引きがとてもむずかかった。

自分が小学生だったころ、夏休みに小学校を解放してくれたことを思い出しました。おもちゃのひろばも、場所を提供くださる人、道具を準備くださる人、サポートをしてくださる人など多くの方々に助けられて成り立っているのだと感じました。

地域にコミュニティがあることで誰もが気軽に使えたり、笑顔あふれる場になったりして地域活性化につながることを学んだ。

工作を一緒にやりながら、どのようにしたら分かりやすく自分の思ったことや次の工程を伝えられるかについて学びました。おもちゃを作り終わった後に、一緒に作っていた子からおりがみをもらいました。仲良くなれたことがとても嬉しかったです。

## もえぎ野地域ケアプラザ夏祭り

協力団体：もえぎ野地域ケアプラザ  
高齢者の通所施設の夏祭りで、高齢者が取り組むゲームのサポートを行った。





5月5日  
市ヶ尾第三公園

## KODOMO FESTA ICHIGAO

市が尾第3公園にて、こどもフェスタ市が尾を今年も5/5に実施しました。未就学時～小学生を主な対象に公園内にお宝としてコインを使い宝探しを行いました。その他、お絵描きコーナーやスタンプラリー、今年もHAPPY SMAILEに参加協力して頂けて、オープニングダンスやダンスワークショップなどを行うことができました。

今年の当イベントでは予約不要の当日受付のみにしましたが、コミュニティ・テラスのホームページなど広報から来てくださった方、当日公園に来て知り参加して下さった方など沢山の方々に参加して頂きました。参加してくれた子供たちや保護者の方から、「楽しかった!」「また参加したい!」など温かい言葉も多く頂きました。太田千鶴(大3)



8月16日  
3月7日

## TERRACE NET

あおばコミュニティ・テラスのファンクラブとして2023年から春・夏・秋・冬、それぞれの季節に学生の企画で開催しています。大学生・社会人・地域の方がテラスに集い、食事を楽しみながら歓談をし、ゆるやかなつながりを持つことができます。

「てらすおっと」→「テラスを照らす」「ネットワークをひろげる」の意味を込めて大学生たちが考えました。

## AOBA RAKUGAKI FESTA

「らくがきフェスタ」は、3月に泉公園で開催されました。当日は、親子がかなり多く来てくださって、思い思いに落書きをしていました。いろいろな色のチョークで地面が埋まるのはとても印象的でした。らくがきをしていく中で、参加者同士の交流や、スタッフとの交流もあり、笑い声が多く聞きました。私は運営として準備段階でメールの送信や予約フォームの作成を担当しましたが、他にも公園の予約など多くの準備を見ていて、イベントの運営の大変さを間近に感じることができました。また、当日の最後の落書きを消すときに中々消えず大変でしたが、それを含めて大きなやりがいを感じました。清水大誠(中2)



3月26日  
泉公園



# ヨコハマゼロワン

## SUMMARY

### 【ヨコハマゼロワンの概要】

ヨコハマゼロワンは、若者が主体となり、循環型社会の創り手として様々なプロジェクトで横浜の未来をつくっていくことで、若者が夢に向かって主体的に取り組める活動づくりと社会の機運づくりをめざす取り組みです。

## REVIEW

2025年度は、様々な人々に支えられたヨコハマゼロワンの前進を実感する1年となりました。

3月にスタートこそしたものの、ゴールも道筋もはっきりと見えていない中で始まった4月。本気で議論を重ね、方向性が少しずつ見えてきた上半期。そして、11月8日の「第1回作戦会議」ではメンバーの再募集と役割分担を実施。ついに走り出すことができました。

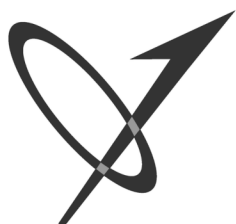
その後も、地域教育実践交流集会やSTYLE100のセッション、アクションアワードなど様々な発表の機会を頂き、伝える力を伸ばすことができました。来年度は、GREEN×EXPOに向けもう一段階ギアを上げ、より意義深く活発なゼロワンを参画者全員でつくっていきたいです。(青木祐弥 高1)

広報チームでは、主にSNSの運用や、ヨコハマゼロワンの公式ホームページの管理・運営を行っています。現在10人のメンバーが在籍しており、週に一度のオンラインミーティングを通して、活動の方向性を話し合っています。最近では、ヨコハマゼロワンのテーマカラーやキャラクターの募集を実施したほか、新規メンバー募集に向けた準備も進めました。今後の活動に向けた基盤づくりも着実に進んでいます。

自分の手で、ヨコハマゼロワンの顔ともなるホームページを作成できたことは、とても楽しく、やりがいのある経験でした。広報チームのメンバー全員が前向きに活動しており、その雰囲気の中で、自分自身も前向きに取り組むことができました。(清水大誠 中2)

ヨコハマゼロワンの企画チームでは、主に毎月の全体定例会や3/20に開催される本イベントの企画を行っています。また、GREEN×EXPO2027への理解を深めるためにGREEN×EXPO2027の中心となる3つの軸「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」「ネイチャーポジティブ」について調べ、ヨコハマゼロワン全体に共有する「勉強会」の企画や準備もしてきました。

議論が活発でアイデアも豊富に出てくる企画チームでは、チームメンバーの認識を合わせることやメンバーの意見をしっかり生かすことを意識しました。その中で今までよりも視野を広く持ち、周りのメンバーの様子を見て内容をこまめに確認する大切さを学びました。(佐竹優芽 高2)



YOKOHAMA 01



「若者がつくり上げる」という機運の形成

若者が主体的に参画できる場の増加

未来を見据えた活動と成果の増加

# YOKOHAMA-01



公式HP

# Science Cafe サイエンスカフェ

協力：三菱ケミカル株式会社・マナブデザイン株式会社

企画・運営：川下祐世(大3)



乳酸菌を“体験しながら学べる”サイエンスイベントとして、「作る」×「学ぶ」の2部構成で実施しました。

第一部は、実験感覚で楽しめる「オリジナル乳酸菌ドリンク作り」。身近な材料を使いながら、自分好みの味を探す体験型プログラムです。

第二部は、三菱ケミカルの研究員の方と一緒に、乳酸菌のはたらきや免疫ケア、体調・肌との関係などを学ぶ時間。日常の「なんで？」を科学につなげる内容でした。

## 準備の段階で大変だったこと

今回のサイエンスカフェは、イベント企画そのものが初めての経験であったため、準備段階では多くの点で戸惑いがありました。そもそもイベントに向けて何を準備すべきなのか、当日の進行や参加者の動線をどのように設計すればよいのかといった基本的な部分から手探りの状態であり、限られた時間の中で必要事項を洗い出し、抜けや漏れがないように調整することは想像以上に難しく、イベント全体を俯瞰して考える力の重要性を実感しました。



## 全体を通して工夫したこと

今回のサイエンスカフェは、イベント企画そのものが初めての経験であったため、準備段階では多くの点で戸惑いがありました。そもそもイベントに向けて何を準備すべきなのか、当日の進行や参加者の動線をどのように設計すればよいのかといった基本的な部分から手探りの状態であり、限られた時間の中で必要事項を洗い出し、抜けや漏れがないように調整することは想像以上に難しく、イベント全体を俯瞰して考える力の重要性を実感しました。

今回のサイエンスカフェは中高生を主な対象としていたため、「サイエンスカフェ」や「乳酸菌」という、一見すると専門的で敷居が高く感じられやすいテーマを、いかに身近に感じてもらえるかを特に意識しました。単に学術的な内容を伝えるだけでなく、学びの要素を残しつつも、参加者が「楽しそう」「行ってみたい」と思えるような構成や雰囲気づくりを心がけました。広報においても、中高生だった頃の自分を思い返し、どのような言葉や表現であれば興味を引かれるかを考えながら、文言や見せ方を工夫しました。

## 当日の感想・印象に残っていること

当日は、予想していた以上に参加者が熱心に取り組んでくれたことが非常に印象に残っています。最初はどの程度関心を持ってもらえるか不安もあったが、実際には乳酸菌に対して積極的に質問をしたり、自分なりに考えを深めようとする姿が多く見られました。



特に、身近な存在である乳酸菌を切り口にしたことで、科学を「難しいもの」ではなく「自分たちの生活とつながっているもの」として捉えてもらえたと感じました。この経験を通して、伝え方次第で科学への興味や理解が大きく変わることを実感し、企画して良かったと強く感じました。

# めざせ国際人

3月14日

講師：福田晴好氏

## Think Global & Go Global

次世代を担う中高生を対象とした国際理解セミナー「めざせ国際人」を開催いたしました。

本イベントでは、日産自動車での欧州駐在（ベルギー・スイス計10年）を経て、GMジャパン副社長やジャガー・ジャパン社長を歴任された福田晴好氏を講師にお招きしました。世界を舞台に第一線で活躍してこられた福田氏の知見から、「これからの世界に必要なとされる力」についてご講演いただきました。

当日のプログラムは二部構成で行われ、前半のレクチャーでは、グローバルビジネスの実体験に基づいた国際感覚の重要性が語られました。後半のディスカッションでは、参加した青葉区内の中高生が積極的に意見を交わし、自らのキャリアや国際社会への関心を深める有意義な機会となりました。

今後も当団体では、地域の若者が広い視野を持ち、グローバルな視点で思考できるような場を提供してまいります。



中学生、高校生の方とその保護者の方のご相談を受け付けております。

# えんがわ 相談

水曜日 16時～18時 予約不要



あおばコミュニティ・テラスでは「身近な相談者」、「気軽な最初の相談先」をコンセプトに、その一つの形として「えんがわ相談」を実施しています。かつて、多くの日本家屋には、外と室内をつなぐ空間として「えんがわ」があり、ご近所との気軽なコミュニケーションスペースとして機能していました。当拠点における「えんがわ相談」も、中高生やその保護者を対象に、フリースペースにおける日常的な雰囲気の中でいつでも気軽に相談できる場をつくっています。また、スタッフ全員による相談体制を構築することで、相談者の自立や自己解決力を促し、継続的な相談を前提としていない点でカウンセリングとは一線を画しています。

中高生世代のお子さんをもつ保護者からは、お子さんがかかえる課題（不登校、無気力、昼夜逆転など）のご相談があります。中高生からは進路や卒業後のキャリア形成に関する相談が寄せられます。相談内容によっては、公認心理師の資格を有し学校教育に詳しいスタッフが相談を引き継ぐことや完全なプライベートスペースとして用意している別室の利用、関係機関への紹介など、状況に応じた段階的な支援を視野に入れた体制で臨んでいます。

保護者セミナー参加者の声をヒントに、中高生世代のお子さんをお持ちの保護者の皆様を対象に「思春期お茶の間会」を開催しています。昨年度、隔月開催でスタートした「お茶の間会」を今年度はさらに充実させ、毎月の開催としました。

悩みや困りごとを一人で抱えているとモヤモヤがどんどん広がり、そのことだけにとらわれがちになりますが、それを自ら語ることで気持ちが整理され、次に向かう勇気を得た経験を多くの方がお持ちではないでしょうか。

「思春期お茶の間会」は、「えんがわ」からちょっと中に入った「お茶の間」のような雰囲気、同じような年代のお子さんをお持ちの保護者同士が安心して語り合える場です。心が軽くなったり、何かしらのヒントをお持ち帰りいただいたり、参加された皆様の次の一歩につながればと考えています。

スキルと経験のあるスタッフがファシリテーターとしてサポートすることで、安心してお話いただける場をつくっています。

語りたいことを語りたい時に語っていただいています。お話を聞いてくださるだけでも大歓迎です。

事前申し込み不要ですのでお気軽にお越しください。



中学生、高校生の方とその保護者の方のご相談を受け付けております。

# 思春期 お茶の間会

毎月第3水曜日 14:00～15:00





# みんなの学習室

## 小学生を対象とした多世代交流事業

小学生の学習を、中学生、高校生、大学生がサポートします。小学生にとって、いつも出会うことが少ない中高生・大学生と一緒に学ぶことは、わくわくする時間となり、多世代交流の場になり、次第にあこがれの連鎖を生むことにもつながっています。

中高生・大学生は事前オリエンテーションで、「小学生が安心して学べるよう、楽しく交流できるよう」話し合い、当日の受付、進行だけでなく、緊張をほぐすためのアイスブレイク、レクリエーション等、それぞれの役割を決め当日に臨みました。

1月には書き初めを行う施設もありました。



## 2025年度チラシ

### 夏休み みんなの学習室

地域の中高生・大学生とふれあいながら、学びも遊びも体験できる学習室です。夏休みの宿題を進めたり、おしゃべりやゲームを楽しんだり、子どもたちが安心して過ごせる場となっています。青葉区内の7つの会場で開催します。

**すすき野地域ケアプラザ**  
8月20日(水)・21日(木)  
10:00~11:30

**鴨志田地域ケアプラザ**  
7月29日(火)・30日(水)  
10:00~12:00

**さつきが丘地域ケアプラザ**  
7月30日(水)・31日(木)  
10:00~12:00

**あおばコミュニティ・テラス**  
8月18日(月)・19日(火)  
10:00~12:00

**美しが丘西地区センター**  
7月26日(土)・27日(日)  
13:30~15:30

**美しが丘地域ケアプラザ**  
7月30日(水)・31日(木)  
10:00~12:00

**大場地域ケアプラザ**  
7月29日(火)  
13:00~14:45  
8月21日(木)  
13:00~15:00

参加費：無料  
対象：青葉区在住の小学1年生~6年生  
定員：各日10~20名程度(施設ごとに異なります)  
持ち物：自分を取り組みたい教材(宿題やドリルなど)、水筒  
申込：都合の良い日程、会場を選び、裏面にある方法で、各会場に直接お申込ください。(先着順)  
※申込開始：7月11日  
主催：青葉区こども家庭支援課  
企画・事務局：NPO法人まちと学校のみらい

申込・各施設の連絡先はこちらのQRコードまたは裏面をご覧ください

## 夏休み みんなの学習室

中学生・高校生・大学生募集中

各施設では、学習に取り組む小学生をサポートしてくれるボランティアを募集しています。1日でもやってみたいと思う方は、QRコードよりお申し込みください。各施設での事前のオリエンテーションに出席してください。

### みんなの学習室スケジュール

★印の日程がオリエンテーション、●印の日程がみんなの学習室の日程です。

<p><b>大場地域ケアプラザ</b> ★7月29日(火)・8月21日(木) 12:00~13:00 ●7月29日(火)13:00~14:45 ●8月21日(木)13:00~15:00</p>	<p><b>鴨志田地域ケアプラザ</b> ★7月29日(火)・30日(水) 9:15~10:00 ●7月29日(火)・30日(水) 10:00~12:00</p>	<p><b>さつきが丘地域ケアプラザ</b> ★7月30日(水)・31日(木) 9:15~10:00 ●7月30日(水)・31日(木) 10:00~12:00</p>	<p><b>美しが丘地域ケアプラザ</b> ★7月30日(水)・31日(木) 9:15~10:00 ●7月30日(水)・31日(木) 10:00~12:00</p>
<p><b>あおばコミュニティ・テラス</b> ★8月16日(土) 13:00~16:00 ●8月18日(月)・19日(火) 10:00~12:00</p>	<p><b>すすき野地域ケアプラザ</b> ★7月18日(日) 15:00~16:00 ●8月20日(水)・21日(木) 10:00~11:30</p>	<p><b>美しが丘西地区センター</b> ★7月26日(土) 13:00~13:30 ●7月26日(土)・27日(日) 13:30~15:30</p>	

「みんなの学習室」では、小学生の勉強のサポートだけではなく、おしゃべりをしたり、一緒にレクリエーションしたりして、小学生と一緒に過ごします。年齢の近いお兄さん、お姉さんと過ごす時間は、小学生にとってちょっとした嬉しい時間になります。

主催：青葉区こども家庭支援課  
企画・事務局：NPO法人まちと学校のみらい  
この日付の申し込みは参加人数の上限に達する可能性があります。



# @FOCAS

大人の学び場

Future Of Community And School

教育・子育て・まちづくり等、多彩なテーマで開催しています。  
毎回、ゲストスピーカーをお招きし、少人数のゼミ形式で行う「大人の学びの場」です。  
新しい気づき、新しい出会いがあり、そこから地域のネットワークが広がり、「動きにつながることを」期待しています。

「西欧名画の技法と歴史」

5月 第48回 筒井祥之（古典絵画・額縁研究所Atelier LAPIS主宰  
青山学院中等部美術教諭）

「ひとが2倍いきる方法～企業マンから楽器店店主へ～」

9月 第49回 藤田睦（弦楽器カンタービレ、  
クラシックギターの店ふえるなんど店主）

2026

2月 第50回 「青葉区における地域づくり」  
久保田実（青葉区連合自治会長会 会長）



## サロンコンサート

おとなりの弦楽器カンタービレのご協力で今年も地元を中心に活躍する演奏家によるコンサートを行う事ができました。身近な場所で、気軽に楽しめる地域ならではのサロンコンサートとして豊かなひろがりを見せています。

6月 第27回 ヴァイオリン 城所素雅  
ピアノ 中川さおり

10月 第28回 teto teto  
鍵盤ハーモニカ 山口悦子  
ピアノ 室橋奈穂子  
パーカッション 廣瀬裕美

サロンコンサート

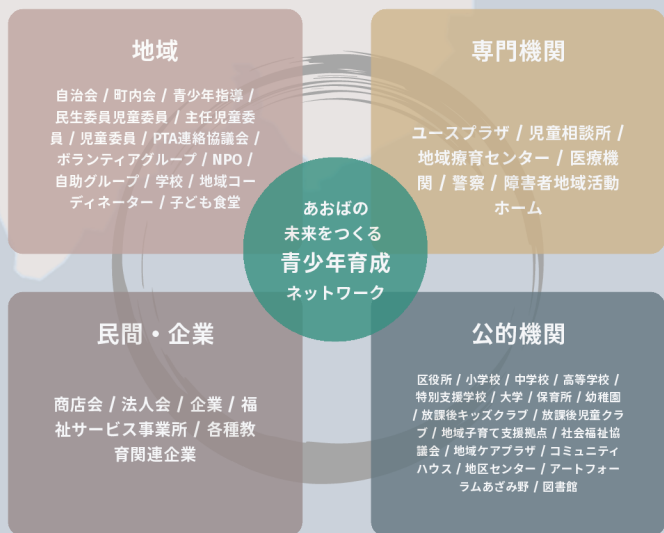
# Salon Concert



# あおばの未来をつくる 青少年育成ネットワークの広がり

～今年度もたくさんの人と出会いつながり、地域活動の実践を重ねることができました！～（順不同）

I love つづき アートフォーラムあざみ野男女共同参画センター あおばおもちゃのひろば あおばカノン あおば子ども食堂 あおば支援学校 アオバ住宅社 あおば地域活動ホーム 「すてっぷ」 あかね台中 アクションポート横浜 あざみ野中 青山学院大学コミュニティ人間科学部 青葉ふれあい農園 青葉みらい農くらぶ 青葉区PTA連絡協議会 青葉区民活動支援センター 青葉区社会福祉協議会 青葉区商店街連合会 青葉区障がい者後見の支援室 「ほっぷ」 青葉区青少年指導員連絡協議会 青葉区民生委員児童委員協議会 青葉区役所(学校連携・こども家庭支援課) 青葉区役所(区政推進課) 青葉区役所(地域振興課) 青葉区連合自治会 青葉警察署 青葉国際交流ラウンジ 青葉台小 青葉台地域ケアプラザ 青葉台中 青葉土木事務所 青葉無料塾 イッツ・コミュニケーションズ株式会社 いるかくらぶ 市ケ尾高 市ケ尾商栄会 市ケ尾小 市ケ尾小放課後キッズクラブ 市ケ尾第三公園愛護会 市ケ尾中 泉公園愛護会 美しが丘西地区センター 美しが丘地域ケアプラザ 美しが丘中 FM サルース 愛媛県教育委員会 愛媛大学教職大学院 荏田猿田公園愛護会 荏田高 荏田西小 荏田西部地区社会福祉協議会 荏田地域ケアプラザ 江田駅周辺商店会 恩田地域ケアプラザ 大場地域ケアプラザ かながわ県民活動サポートセンター 株式会社3丁目カフェ 株式会社ispace 株式会社アサヒデンキ 株式会社イータウン 株式会社ウエル 株式会社タウンニュース社 株式会社ナミックス 株式会社リアセック 株式会社浜銀総合研究所 鎌倉市PTA連絡協議会 鴨志田地域ケアプラザ 鴨志田中 神奈川県教育委員会 神奈川県立青少年センター 神奈川大学 神奈川中央交通東株式会社 川和高 学習支援団体 無料塾かわさき芽吹塾 キヤノンマーケティングジャパン株式会社 京都市子ども若者はくみ若者未来育成推進課 京都市役所 銀の会 クアット ロバンキーネ くるがね倶楽部 鉄小放課後キッズクラブ 鉄小げんきかい 弦楽器専門店カンタービレ こまちぶらす 公益財団法人よこはまユース 公益財団法人日本漢字能力検定協会 公益財団法人博報堂教育財団 公益社団法人日本教育会 さくらリビング さつきが丘地域ケアプラザ



サロン・デ・チャルラス シェアリングケアリングカルチャー 社会福祉法人グリーン 主任児童委員 島根県益田市匹見小学校 寺家田んぼ“むすび” 自衛隊神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所 すずき野地域ケアプラザ すずき野中 スパイスアップ編集部 スプラス青葉台 スペースナナ生活クラブ協同組合市ヶ尾デポー SOLIZE (株) ソーシャルコーディネートかながわ タウンガイド青葉 たまプラーザ駅前通り商店会 たまプラーザ地域ケアプラザ 丹波甘納豆本舗 田奈高 W.Coパレット 地域教育実践ネットワークえひめ 中途障害者地域活動センター 「青葉の風」 都筑区役所 桐蔭横浜大学 桐蔭学園 高等学校・中等教育学校・小学校 東京ボランティア・市民活動センター 東京学芸大学 東京都つながり創生財団 東京法令出版株式会社 ナチュラル・ポーノ 奈良地域ケアプラザ 奈良地区センター 奈良中 新居浜市教育委員会 日本体育大学 日本大学 眠りのお部屋 HAKUTO-R HAPPY SMILE 倶楽部 はまキッズ市ヶ尾 baobab パノラマ ひきこもり当事者グループ 「ひき桜」 in 横浜 広島県教育委員会 東市ヶ尾小 びーのびーの ピオラ市ヶ尾地域ケアプラザ ピアサポートネットしずやびあっとAOBA フリースペースあおば フルーツパーク坂田農園 フレンズ☆SAKAE 藤沢市民活動推進機構 福祉保健活動拠点「ふれあい青葉」 ベーカーリーカフェ COPPET ベネッセ学童クラブ市ヶ尾 ベルグの4月 ほどがや市民活動センターアワーズ まちしっぷ まちの相談所ネットワーク まちらぼ みたけ台中 ミニシティプラス三菱ケミカル株式会社 緑が丘中 緑区地域振興課 武蔵野市役所 無印良品青葉台店 もえぎ野地域ケアプラザ もえぎ野中 元石川高 元石川放課後児童クラブ 森ノオト 文部科学省 山口県光市教育委員会 山口県光市浅江中学校 山内中 谷本小 谷本小学校おやじの会「たぬきクラブ」 谷本中 ユニコムプラザさがみはら 有限会社リフォームプロ よこはま北部ユースプラザ 横浜市こども青少年局 横浜市デジタル統括本部 横浜市教育委員会 横浜市港湾局 横浜市市民局 横浜市政策経営局共創推進室 横浜市青少年育成センター 横浜市脱炭素・GREEN EXPO推進局 横浜市民施設協会 ラファール(青葉台) ラファールサテライト(市ヶ尾) わかば社会福祉事務所 若草台地区センター 早稲田大学

# 地域教育実践交流集会 IN愛媛

日時：12月6日（土）7日（日）  
場所：国立大洲青少年交流の家  
石川南（大4） 大久保芽生（大4） 川島俊作（大4） 木村壮（大3・実行委員会） 佐竹優芽（高2） 佐野碧（高2） 青木祐弥（高1）  
分散会発表：「ヨコハマゼロワン」 青木祐弥（高1）  
分散会発表：「あおばコミュニティ・テラス」 佐野碧（高2） 石川南（大4）



2025年12月、愛媛県大洲市にある「国立青少年の家」で行われた「第18回地域教育実践交流集会」に分散会発表者として参加しました。分散会発表では、地域教育に携わっている方々にあおば未来プロジェクトを紹介しました。全国で活動されている方々と交流して、その人たちが作り上げるコミュニティの温かさに感動しながらも、地域によって重視する活動の違いに驚きました。また、コミュニティのあり方に必要なのは縦でも横でもない、「斜めのつながり」だと気づかされました。このようなつながりを築くためには、積極的に広い世代に声をかけていくことが大切だと感じました。今後は「斜めのつながり」の輪を広げていけるような活動をしていきたいです。佐野碧（高2）



# TEAM TEAM INTRODUCTION

さまざまな専門性や経験を活かしチームで運営しています。居心地の良い安心できる「場」を提供、中高生・大学生ひとりひとりが主体的に活動し、学びと出会いを楽しめるようサポートするとともに、地域のネットワークを広げ、大人も子どもも参画するまちづくりへつなげていきます。

## 竹原和泉（チーフコーディネーター NPO法人まちと学校のみらい代表理事）



神奈川県初のコミュニティ・スクール東山田中学校コミュニティハウスで11年間、学校と地域、まちをつなぐ「場」を運営。学校運営協議会委員として横浜市立東山田中学校ブロック・市ヶ尾中学校・神奈川県立あおば支援学校・元石川高等学校にかかわる。東京学芸大学理事、神奈川大学理事、文部科学省中央教育審議会臨時委員、コミュニティ・スクール推進名誉マイスター、国立青少年教育振興機構評価委員、横浜市民協働推進委員会委員等を歴任。

## 武智理恵（チーフコーディネーターNPO法人まちと学校のみらい副代表理事）

愛媛県において青少年対象のボランティア活動・学校・家庭・地域連携推進協議会委員、人権施策推進協議会委員等を歴任 現在横浜と愛媛で2拠点活動を展開 神奈川県立あおば支援学校地域コーディネーター



## 大久保智弘（チーフコーディネーター）

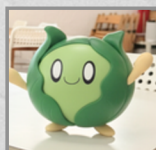


不登校支援とキャリア教育の場ビジョナリーキャリアアカデミー代表 総合型・学校推薦型選抜専門塾カンザキメソッド主任講師 東京都スクールカウンセラー 千代田区教育委員会巡回アドバイザー 横浜市立市ヶ尾中学校ブロック学校運営協議会委員 公認心理師 キャリアコンサルタント

## テラスくん（マスコットキャラクター）

2020年ごろ中高生がデザインして誕生し、あおばコミュニティ・テラスの公式マスコットキャラクターに認定。

キャベツがモチーフになっているらしいが、レタス派も一定数存在し、学生たちが投票で名前を決定した。語尾や性格が迷走していることが多い。



## 増淵広美（コーディネーター）



青少年と家族の未来研究所代表。（青葉区内）田奈高等学校副校長・神奈川県立市ヶ尾高等学校校長を歴任。定年退職後、県立総合教育センターの教育相談専門員を経て現職。元文部科学省CS（コミュニティ・スクール）マイスター。県立高校在職中から心理学、カウンセリング、キャリア・コンサルティングを学ぶ。公認心理師、2級キャリア・コンサルティング技能士、米国NLP™協会認定トレーナー、ナラティブセラピスト、家族相談士、家族支援士、認知行動心理士、認知マインドフルネス心理士、セルフカウンセリングアドバイザー、日本ペップトーク普及協会認定講師

## 西島朝子（コーディネーター）



行政書士 市役所勤務の経験を活かし、行政との協働、NPO法人等公益法人の設立、組織運営、資金調達、小規模事業者の助成金申請などを支援 日本行政書士会連合会著作権相談員 認定特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会准認定ファンドレイザー 西島朝子行政書士事務所代表

## 川島春子（コーディネーター）



PTA・ボランティア活動を経て、横浜市の区民活動センター相談員として市民活動支援に従事。市民の社会参加をコーディネートするNPO法人の設立メンバーとして活動中。NPO法人まちラボ理事 キャリアコンサルタント

## 伊勢田純子（コーディネーター）



2024年1月、あおばコミュニティ・テラスのコーディネーターチームに参加。25年余りの横浜市役所でのアルバイト経験を活かして、事務全般を担当。

## 葉石真澄（コーディネーター NPO法人まちと学校のみらい理事）



一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ理事 県民活動サポートセンターアドバイザー・相談コーナー協働コーディネーター かながわコミュニティカレッジ企画運営担当

## 有路由紀子（コーディネーター NPO法人まちと学校のみらい理事）



法人会計・人事等に従事 中途障害者地域活動センター所長・財団法人横浜市母子寡婦福祉会副理事長を歴任

## 【アドバイザー】

溝上慎一：学校法人桐蔭学園理事長

相川良子：NPO法人ピアサポートネットしぶや理事長

宮地洋平：弁護士 たまプラーザ法律事務所

# 一年の流れ



2025年11月8日(土)  
横浜市役所